

# 2023年度 事業計画書

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

## 2023 年度 事業計画

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

### 1. 協会活動方針

2023 年度の協会活動方針は、以下の通りとする。

- (1) 会員企業ならびに出展企業の事業拡大の一助となるサービスの向上に努めるとともに、事務局の運営に関しては、職員の在宅勤務を基本とした勤務体系とし、業務の効率化・合理化とともに、法人の継続的な運営維持を図る。
- (2) 当協会は、「CEATEC」「Inter BEE」の維持と発展を目的とし、主催者との連携をさらに強化するとともに、出展企業のビジネス機会の創出への貢献をも目指す。同時に、リソースを最大限に活用できるよう選択と集中を図りながら、企画、運営に努める。  
さらには、Society 5.0 を基軸に、業界団体が主催する持続可能な国際ビジネス展示会の実現を目指す。「CEATEC」「Inter BEE」の開催においては、最新の新型コロナウイルスの感染防止対策を来場者、出展者、運営に従事する関係者等、両展示会に関与するすべての関係者に向けて提供すべく、最適な運営様式を定義・実行の上、会場運営を行う。
- (3) 「CEATEC」は、主催者との連携を継続的に強化し、Society 5.0 の展示会として政府・産業団体との連携をさらに深めながら、日本の成長戦略や未来社会を世界に向けて発信する。
- (4) 「Inter BEE」は、主催者としての方針を改めて確認の上、連携をさらに強化し、「メディア総合イベント」への発展を目指す。主催者企画等、各種の新たな取り組みも加速させる。
- (5) 会員企業ならびに出展企業へのサービスのさらなる向上に努めるとともに、事務局業務の効率化と合理化を推進する。
  - ① 両展示会の出展者向けのサービス向上として、「出展者専用サイト（オンライン）」については、毎年、改良等を行い運用してきたが、来場者向けのページとの連携や出展者のユーザビリティの向上を目指し、25 回目の開催となる CEATEC 2024、60 回目の開催となる Inter BEE 2024 での本格運用に向け、本年より開発・構築・テスト運用を行い、2024 年開催でのサービスの向上を図る。
  - ② 本サービスの追加機能  
ミーティング予約受付機能、お問合せフォーム機能、来場者向けお気に入り登録機能、オンライン来場者データダウンロードサービス、デジタル案内状カスタム機能、セキュリティ機能の強化。

### 2. 協会運営事業

総会、理事会、運営役員会等を次の通り開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、各種事業を円滑に実施する。

(1) 通常総会

- ・第20回通常総会：2023年6月1日（木）

(2) 理事会

- ・第63回理事会：2023年5月17日（水）
- ・第64回理事会：2023年6月1日（木）
- ・第65回理事会：2023年11月20日（月）
- ・第66回理事会：2024年3月27日（水）

(3) 運営役員会

理事会への対応を始め、当協会の重要案件審議のため、適時開催とする。

### **3. 展示会事業**

#### **3-1 「CEATEC 2023」**

- (1) 第24回目のCEATECとなる「CEATEC 2023」を、幕張メッセ(千葉市美浜区)にて10月17日（火）～20日（金）の4日間開催する。

① 開催基本方針

経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く場とし、「デジタルイノベーションの総合展示会」として開催する。

② 出展部門・構成

「アドバンスドテクノロジーエリア」

Society 5.0の実現に向けた、あらゆるソリューションや製品全般を展開するエリア。

「キーデバイスエリア」

Society 5.0の実現を支える電子部品や電子デバイスのエリア。

「パートナーズパーク」

独自テーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともに Society 5.0の未来社会を体現する「共創」エリア。

「スタートアップ&ユニバーシティエリア」

未来を担う国内外のスタートアップや研究成果の社会実装を目指す大学・教育機関のエリア。

③ 施策ポイント

- ・「次世代を見据えて」をテーマとする多角的な取組みを図る。

次世代の社会：デジタル田園都市実現のための実例展示/コンファレンス

次世代を支える：最新技術/デバイスの展示

次世代を実現する：共創の場の提供と課題解決の実例展示

次世代の鍵を握る：国内外のスタートアップ企業による展示

次世代に向けた：人材育成のためのプログラム

次世代の地球環境：サステナブルな展示会運営

- ・政府および経営幹部等の交流の場として、オープニングレセプションを開催する。

④ コンファレンス

会場の展示では表現できない「CEATECの世界観（メッセージ）」を発信すべく、最新のテクノロジーや取組みを、主催／共催団体や出展者が主体となり、幕張メッセをメイン会場としながら、オンラインでも講演会を実施する。

⑤ 海外出展者／海外来場者／海外プレスの誘致

各国在日大使館、各国業界団体、政府広報機関、CEATEC 海外パートナーと連携し、SNSなどのデジタルメディアを中心に告知活動と来場誘致を実施する。

また、欧米およびアジアの有力メディアを対象に、海外メディアによる取材の拡大を実現する。

(2) 「CEATEC 2023 実行委員会」を年間5回開催する。施策テーマとなる「次世代を見据えて」を実現する各種の取組みを促進させる。

また、実行委員会の傘下に課題検討WGを設置し、各種の課題解決に向け出展者と委員会の両視点からの意見交換と議論を行い、実行委員会に提言する。

### 3-2 「Inter BEE 2023」

(1) 第59回目のInter BEEとなる「Inter BEE 2023」を、幕張メッセ（千葉市美浜区）にて11月15日（水）～17日（金）の3日間開催する。

① 開催基本方針

「Society 5.0」の実現に向けて、関連産業との連携をさらに強化し、それらの産業界の進展を支えるビジネス機会の創出の場を提供する。本年を新たな再出発点と位置付け、関連産業分野の進化と拡張に貢献し、より多くのプロフェッショナルユーザに向けて、先進かつ有益な情報を発信する、メディアとエンターテインメントの総合イベントとしてその確立を目指す。

また、来年は60回目を迎える節目となるため、60周年開催に向けた各種企画事業の拡大を図る。

② 出展部門・構成

「プロオーディオ部門」

スタジオ・配信・ライブ・施設の音響シーンを進化させるプロユース向け音響ビジネスの場。

「映像制作・放送関連機材部門」

映像と放送プロダクションの新たな進化と潮流を発見する、最先端の提案とビジネスの場。

「エンターテインメント/ライティング部門」

メディア領域を拡張し、コンテンツ表現を革新する、新たなエンターテインメントテクノロジーの発信とビジネス空間。

「メディア・ソリューション部門」

進化するメディアとネットワークのフィールドを拓げる、次世代コミュニケーションテクノロジーの発信とビジネス最前線。

③ 特別企画

「INTER BEE EXPERIENCE」

SRスピーカー体験デモを展開し、来場者に体感していただく。

「INTER BEE BORDERLESS」

放送と通信の融合によるメディアビジネスの可能性を発信することを目的としていた従来の

「INTER BEE CONNECTED」を、放送か通信かを意識せずコンテンツを楽しむ時代の到来を

鑑みて、自由で新しいコンテンツの届け方や、そこから生まれるコミュニケーションを創り出すアイデア等の未来を切り開くビジネス提案の場として刷新する。

#### 「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」

メディアとエンターテインメントのイノベーション&ビジネスの最前線を発信。新たにスタートアップエリアを設け、その活躍の場を広げる。

#### 「INTER BEE IP PAVILION」

本年は放送局内に留まらず、系列局間を意識したシステムを構築し、Media over IP 技術をフル活用した手法を提案する。

#### 「INTER BEE CREATIVE」

本年より、クリエイション製品展示を行う「INTER BEE CREATIVE for Entertainment」と、動画マーケティングを紹介する「INTER BEE CREATIVE for Marketing」を設置し、新たなターゲットの来場者獲得に向けた活動を図る。

#### (2) コンファレンス

講演の内容に応じて、リアル会場とオンライン会場に分けて実施し、差別化を図る。

INTER BEE FORUM 基調講演／特別講演／テクニカルセッション

#### (3) 「Inter BEE 2023 実行委員会」を年間6回開催する。B to B 展示会として、役割、機能強化を実現・推進する。

また、実行委員会の傘下に企画WGを設置し、「INTER BEE FORUM」(講演会)の実施に向け、方向性やテーマを検討しプログラム化する。さらに、各特別企画の推進をタスクとしてグループ化し、情報共有と各企画間との連携、さらには民放技術報告会との連携を図るための組織とする。

### 3-3 「The 10th After NAB Show Tokyo 2023」

2019年まで、毎年5月に開催していた「After NAB Show Tokyo」は、米国で開催される「NAB Show」(4月開催)との連携など、その役割を十分に果たしたことから、本年以降、今後の開催を行わないことでNAB日本代表事務所(映像新聞社)と協議し合意した。

なお、「NAB Show」とは、Inter BEEのオフィシャルパートナーとしての連携を強化すべく、さらなる情報交流を図ることとする。

※主催：NAB日本代表事務所(映像新聞社)／一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会

## 4. 国際連携活動

当協会が運営する展示会の国際化の促進を図るため、海外関連展示会の主催団体等とプロモーション活動、プレスコンファレンス、出展誘致、来場者誘致などの相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行う。

※対象海外展示会：CES、IFA、NAB、IBC、Viva Technology ほか

以 上